

## LEARの設定と役割について

### 1. LEAR とは

LEAR は、Legal Entity Appointed Representative の略称である。

機関（個人ではない）において、LEAR は機関内の法的代表者に正式に任命され、同機関を代表して Participant Portal の「My Area」の Electronic exchange system で管理される EU の助成・補助金を受けるプロジェクトに参加するためのタスクを実行する。

個人による参加の場合、LEAR = 参加者となる

### 2. LEAR の主な役割

LEAR の権限:

- Participant Portal の「Beneficiary Register」→「My Area」のセクションにおいて、法的、財務データの閲覧することができる
- 必要に応じて欧州委員会へ上記情報の更新・認証を直接依頼できる
- 欧州委員会が、情報の認証を行ったか、いつ行ったかを確認できる
- 機関の PIC コード（機関識別コード）が使用された事を確認できる

### 3. LEAR の役割

以下の役割を果たす事：

- EU Login を通じて、欧州委員会に対し、機関の法的、財務データ（必要に応じて欧州委員会が直接依頼する補足資料）を提供する事
- 上記情報を管理、更新する（欧州委員会との契約やその他の公式なやり取りに対して署名できる状態の情報に更新しておく）。よって、定期的に情報を確認し、必要に応じて EU Login アカウントから修正をする事。
- 機関を代表して法的文書への署名する者（LSIGN）の名前を設定する。この役割を与えられた者は機関を法的に代表し契約書や、任意変更書等に署名を行う事ができる。

役割を終えた担当者のロール設定の削除も行う事

- 機関を代表して財務データへ署名する者 (FSIGN) の設定を行う。機関を代表し、担当者が EU へ提出する財務データを署名 (承認) する役割を持つ。

役割を終えた担当者のロール設定の削除も行う事

- PIC コードを、欧州委員会への連絡を必要とする個人や各関係部局に共有する事 (提案書の提出、プロジェクトのマネージメントなど)

#### 4. 一部権限・役割の移譲について

LEAR は Account Administrator (AcAd) の役割を設定し、上記 2、3 の作業を他の担当者へ移譲する事ができる。

移譲するには、LEAR は EU Login において、Identity and Access Management から担当者を指名する必要がある。

上述の Account Administrator (AcAd) は他の担当者に対して同じ権限を付与する事ができない

署名欄

機関代表者署名欄 (LEAR を任命)

LEAR 署名欄

date            signature            stamp

date            signature

HISTORY OF CHANGES		
VERSION	PUBLICATION DATE	CHANGE
1.0	11.2.2014	Initial version
1.1	06.02.2015	Minor formatting changes: Addition of versioning table. Change of blue colour